

大学・地域共創プラットフォーム香川
令和6年度第1回運営委員会 議事要旨

日時：令和6年8月6日（火） 11：00 ～ 11：45

場所：香川大学法人本部（4階）大会議室

出席構成員（敬称略）：香川大学 国分 伸二、香川県立保健医療大学 河西 浩一、四国学院大学 片山 昭彦（代理）、徳島文理大学 中筋 政人、高松大学・高松短期大学 西岡 達哉、香川短期大学 齊藤 栄嗣、せとうち観光専門職短期大学 安本 幸博、香川高等専門学校 岡本 大輔（代理）、香川県商工会議所連合会 新池 伸司、香川県商工会連合会 宮武 卓朗、香川県中小企業団体中央会 朝國 和樹（代理）、香川経済同友会 國村 一郎、香川県中小企業家同友会 宮下 幸雄（代理）、香川県農業協同組合中央会 岡田 孝浩、香川県銀行協会 松田 秀司、香川県 尾崎 英司、高松市 齋藤 直樹（代理）、丸亀市 藤井 慶子（代理）、善通寺市 高木 博昭（代理）、観音寺市 黒川 順司、さぬき市 多田 千稔、東かがわ市 寺西 康博、三豊市 荒脇 健司、小豆島町 三好 貴之（代理）、三木町 近藤 巧哉（代理）、宇多津町 岩瀬 弘大（代理）、多度津町 吉田 拓也、まんのう町 河野 正法
(29/35 構成員出席)

○議 題

1. 令和5年度事業実施報告（案）について（資料1-1、1-2、1-3）

令和5年度事業実施報告（案）について、資料1-1～1-3に基づき、事務局から説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

（意見等）

・特になし

2. 令和5年度収支決算報告（案）について（資料2）

令和5年度収支決算報告（案）について、資料2に基づき、事務局から説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

（意見等）

・特になし

3. 令和5年度事業達成評価について（資料3）

令和5年度事業達成評価について、資料3に基づき、事務局から説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

（意見等）

・特になし

4. 次期中長期計画（2024 年度～2028 年度）について（資料 4）

次期中長期計画（2024 年度～2028 年度）について、資料 4 に基づき、事務局から説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

（意見等）

- ・特になし

5. 規約改正について（資料 5－1、5－2）

規約改正について、資料 5－1、5－2 に基づき、事務局から説明があり、審議の結果、原案どおり了承された。

（意見等）

- ・特になし

○報 告

1. 令和 6 年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金について（資料 6）

令和 6 年度大学・地域共創プラットフォーム香川産学官共創チャレンジ支援補助金について、資料 6 に基づき事務局及び香川県から報告があった。

（意見等）

- ・特になし

2. 令和 6 年度名義使用の許諾について（資料 7）

令和 6 年度名義使用の許諾について、資料 7 に基づき事務局から報告があった。

（意見等）

- ・特になし

3. 県内大学生等卒業生の就職状況について（資料 8）

県内大学生等卒業生の就職状況について、資料 8 に基づき香川県から報告があった。

（意見等）（●…意見等 ○…回答）

- 県内大学等卒業生の県内就職率が下がった要因は何か。

○どの企業も人手不足の状況であり、特に理系学生が県外企業に流出していることが要因の一つと考えられる。詳細分析はこれから行ってまいりたい。

- 進学、就職いずれも県内学生が県外に流出してしまうことに加え、外国人材についても首都圏・関西圏に取られている状況である。企業のニーズをヒアリングするアンケート・データがないというのが実情であるため、プラットフォームの方で人手不足に対する企業ニーズを調査するとともに、企業ニーズに基づいた施策を実施していただきたい。

○OPF で実施したアンケート調査の分析が行われているところであり、構成員の皆様の意見をいただきながら施策展開に繋げてまいりたい。

- 県内進学・県内就職について対応される進学・教育部会及び就職・産業振興部会の今後の方針を伺いたい。

○進学・教育部会では、広報や高校はじめ中学・小学校との連携を強化し、県内大学・短大への理解・認知度を促進していく。これまで主に高校生にアプローチをかけていたが、昨年度から高校の PTA 連合会と連携し保護者へのアプローチもスタートしている。また、高校の進路指導以外の教員に対してもアプローチしていく予定である。

○就職・産業振興部会では、就職活動、採用活動それぞれに対するアンケートに基づいて、根拠のある施策を打ち出していきたいと考えている。企業向けアンケートの結果を分析すると、企業が採用活動をはじめる時期よりも学生が就職活動をはじめる時期の方が早いということが分かっているため、高校生～大学1～2年生の段階で県内企業の魅力を知ってもらう取り組みが求められているのではないかと考え、令和6年度事業として展開していく予定である。また、今年度進学・教育部会で実施する保護者向けの高大連携キャリアデザイン研修事業に、就職・産業振興部会の委員である香川県商工会議所連合会様と香川県中小企業団体中央会様も参加していただくことになっている。部会の枠にとらわれず、効果的な取り組みを進めていきたい。

- アンケート結果の分析等については、積極的に企業にも参加してもらい意見交換を行っていただきたい。また、香川県以外の四国・中国地方の県の県内進学率・就職率の調査も行い、比較分析も進めていただきたい。

○そ の 他（意見交換）

- ・特に無し